

第2学期始業式式辞

皆さん、こんばんは。夏休みが終わり、本日から新学期が始まります。まだ夏休み気分の抜けない人がいるかもしれませんが、生活のリズムを整えて授業に臨んでください。

さて、今日は、自分を律するという意味で使う「自律」と、独り立ちするという意味で使われる「自立」という二つの言葉について話します。

皆さんも、この二つの言葉を耳にしたことがあるでしょう。特に、前者の自律については、小・中学校時代に、しばしば先生から言われたのではないのでしょうか。私も、担任をしていた時、クラスの生徒に話をした記憶があります。

言葉の意味を調べるため、辞書を引いてみると、「自分で自分の行ないを規制すること。外部からの力にしばられないで、自分の立てた規範に従って行動すること」と記されています。

私を含め、大多数の人間は、日々、自分で決めたルールに従って生活しています。たとえば、学校に行くために7時に家を出るとか、健康を維持するために三食をきちんと食べるとか、個々に応じた決め事があるはずです。

私の場合、健康維持のため、毎日40分以上は歩くようにしています。また、暴飲暴食を慎み、なるべく睡眠時間を確保するように心掛けています。若いころは、どちらかというと、自分の本能のおもむくままに生活していましたので、自分でも不思議な感じがします。

人間誰しも、しんどいことや、面倒くさいことはしたくないものです。それなのに、なぜ自分の行動に制約をかけるのでしょうか。それは、自分を律することが、最終的に自分のためになるし、他者にも迷惑をかけないからです。人間は、一人では生きていけません。周りの人と良好な関係を築きながら生活していくためには、ある程度、自分の言動をコントロールすることが必要です。

次に、二つ目の「自立」について話します。皆さんは、現在、保護者等に養育されています。学校に通う費用や衣食住などに必要な経費は、そのほとんどを保護者等が負担しています。また、悩みや心配事があったら、保護者等に相談することが多いと思います。そういった意味では、経済的なことだけでなく、精神的にも保護者等に依存していると言えます。

しかし、学校を卒業したら、自分で働いて収入を獲得し、生活していかななくてはなりません。それが遅いか、早いかは、個々人によって異なりますが、皆さんにもいずれその

時が訪れます。今は、社会に出ていくための準備をしている段階であり、そのために必要な知識や技能、社会性などを身に付けています。

今、学校では教職員が、家庭では保護者等が皆さんの活動や生活を支えてくれています。しかし、社会人になったら、それらの多くを自分一人でやっていかななくてはなりません。これがどれだけ大変かは、おそらく自分で経験してみないと分からないでしょう。

私は、学生時代、口うるさく自分の言動を注意する親に対して生意気な態度をとっていました。しかし、社会人になり、子どもの親になった時、改めて親の言っていた意味を本当に理解しました。不思議なもので、今では、かつて自分の親が言っていたことを自分の子供に言っています。

自立とは、自分の保護者等から独立することでもあります。そのために、保護者等は、社会人として必要なことを子供に教えたり、気になる言動を注意したりします。今は、そういった行為をわずらわしく感じるかもしれません。しかし、あえて厳しいことや苦言を呈する気持ちも察してほしいと思います。

今回は、二つの自律・自立を通して、自分の在り方を考えてみました。参考になることがあれば、自身の生活の中で生かしてください。